

Panasonic



パナソニック ソリューションテクノロジーの

DX

Digital Transformation

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

代表取締役社長 伊藤 一義

2023年4月



現場力を、
競争力に。

目次

1. 当社経営の方向性
2. DXの位置づけ
3. DX戦略骨子
 - ① 社会へのお役立ち（DX貢献）
 - ② 自社DX（社内DX・事業DX）
 - ③ 土台づくり（DX基盤）
4. DX推進体制
5. 主な成果指標

1. 当社経営の方向性 ~社長メッセージ~

パナソニック ソリューションテクノロジーは1988年に創業しました。

まだICTという言葉もなかったデジタル黎明期から、ITインフラの構築やソフトウェアの自社開発を続け、近年ではクラウドやセキュリティ、AIソリューションなどにも、お役立ち領域を拡大しています。

わたしたちの使命は日本社会が直面する労働人口減少問題に、デジタルテクノロジーを活用したソリューションで立ち向かうこと。これまでパナソニックグループで培った現場知見と創業以来培ってきたIT・OTのデジタルの力により、現場力の中心である人をカイホウし、現場力を、競争力と言える水準まで高め、お客様企業を輝かせることです。

わたしたちは単なるIT企業・システムインテグレーターではありません、多くの現場を持つパナソニックグループで培った現場知見を持つ、デジタルソリューション企業です。

わたしたちは製造業とその現場やホワイトカラーの働き方などのフィールドで、お客様の現場力に寄り添い、お客様にとって本当に価値のあるソリューションを提供してまいります。

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社
代表取締役社長 伊藤 一義



1. 当社経営の方向性

パーパスである『現場知見とデジタルで人をカイホウする ~人を作業から解放し、人の可能性を解き放つ~』を起点に経営推進
社会へのお役立ち・事業成長・働きがいを実現し、関わる全ての人々が幸せになる持続的成長を目指す

■ Purpose / TagLine

: 現場知見とデジタルで人をカイホウする / 現場力を、競争力に
~人を作業から解放し、人の可能性を解き放つ~

■ Vision

: 志(パーパス)のもとに集い、社会へのお役立ち・事業成長・働きがいを実現し、
関わる全ての人々が幸せになる持続的成長を目指す

■ Business Strategy

: 専鋭化 による競争力向上とビジネスモデル転換による収益力向上

: 専鋭化・・・絞り込んだ領域において競争力を徹底して磨き上げること

2. DXの位置づけ

当社のDXは、パーパス体现のイネーブラーであり、**パーパスの体现そのもの**



現場知見とデジタルで人をカイホウする
～人を作業から解放し、人の可能性を解き放つ～

3. DX戦略骨子

社会へのお役立ち(DX貢献)、 自社DX(社内DX・事業DX)、 土台づくり(DX基盤)の3点を推進
DXをテコに、当社のパーパスを体現するとともに、ビジョン・戦略の実現を加速する

- Purpose / TagLine : 現場知見とデジタルで人をカイホウする / 現場力を、競争力に
~人を作業から解放し、人の可能性を解き放つ~
- Vision : 志(パーパス)のもとに集い、社会へのお役立ち・事業成長・働きがいを実現し、
関わる全ての人々が幸せになる持続的成長を目指す
- Business Strategy : 専鋭化による競争力向上 と ビジネスモデル転換による収益力向上

▪ DX
(Digital Transformation)

社会へのお役立ち (DX貢献)

自社DX (社内DX・事業DX)

土台づくり (DX基盤)

社会へのお役立ち（DX貢献）

パナソニックの **現場知見** と創業以来培ったIT・OTの **デジタル** で

現場力の中心である **人をカイホウ** | ・人を作業から解放する | し
| ・人の可能性を解放する | し

日本の社会課題である **労働人口減少** へのお役立ちを果たす



自社DX（社内DX・事業DX）

- ・ パーパス（人の可能性を解き放つ）を自ら体現、IT・デジタルをテコに **業務改革 & データ経営推進**
- ・ 顧客へのお役立ちの中で得られるデータを活用し、**顧客接点強化、提供価値拡大×強いビジネス構築**
- ・ **基幹システム刷新、AI・BI・RPA・クラウドなどのデジタル技術活用を積極推進**し、自社DXを加速

社内DX

内向き仕事を排し、**顧客接点・付加価値業務**へ注力
データ基軸に経営・事業推進（**全員・同じ目線・先手**）

業務改革



集計作業



顧客接点への注力



二重入力・目視



課題解決・先手取り組み

データ経営推進



全員が



同じ目線で



先手・先手で

事業DX

データを活用し“**顧客を知る**”ことで、**顧客接点強化**
AI×データで、**提供価値拡大×強いビジネス構築**
（ハーベストループの構築）

顧客接点強化

顧客分析・インサイト



- ・ご購入実績
- ・サービスご利用ログ
- ・お問い合わせ内容
- など

顧客と **はやく 深く 長く** つながる

AIビジネス構築



土台づくり（DX基盤）

DX成果増を目指し、**挑戦の数**を増やす施策と**成功確率**を上げる施策を推進

DXによる
成果の総量

=

挑戦の数

×

成功確率

経験値Up

受容性Up

技術・手法

- ノーコード・ローコード
～コスト・スピード・スキルの壁を下げる～

- ノーコード・ローコード
- アジャイル / リーン
～やり直し・試行錯誤しやすくする～

人材

- IT・デジタルの民主化
(社員-総デジタル人材化)
～人的リソース制約の壁を下げる～

- 専鋭化したプロ人材
- 自立・自律と相互リスペクト
～自走・相互補完しやすくする～

組織文化

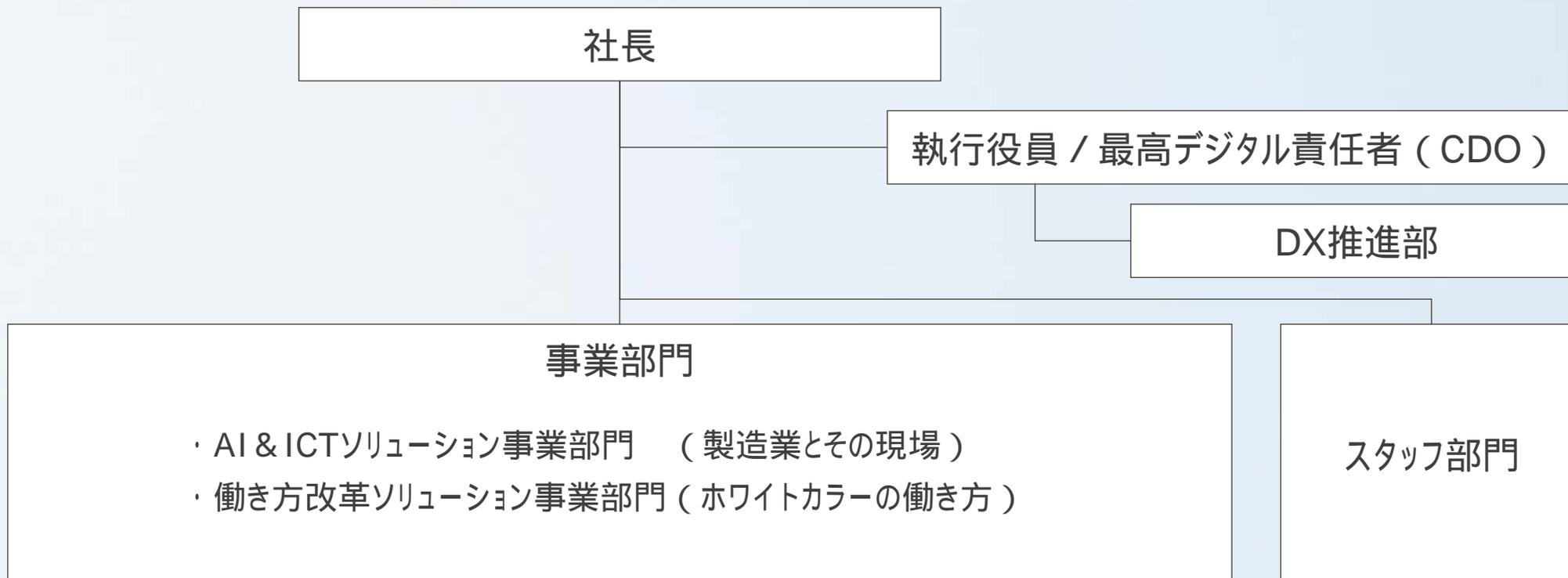
- 心理的安全性
- DEI -Diversity,Equity&Inclusion-
～失敗・同調・忖度の壁を下げる～

- 脱サイロ / 人・組織のつながり
- DEI -Diversity,Equity&Inclusion-
～縦横連携・衆知を集めやすくする～

4 . DX推進体制

- ・ 注力領域（製造業とその現場・ホワイトカラーの働き方）における社会へのお役立ち（DX貢献）を各事業部門で推進
- ・ 社長直下の執行役員を最高デジタル責任者（CDO）に任命するとともに、DX推進部を設置して推進

組織体制



人材育成

人材類型を明示した上で、キャリア / 育成プランの策定、人材育成投資、最新IT資格取得支援、部門間のローテーションなどの各種施策を推進し、DX人材の底上げを図る。

5. 主な成果指標

以下を主な成果指標として注視し、取り組みを推進する

専鋭領域 の事業構成比

当社の強みやデジタル技術を生かしてお役立ちする注力領域
(製造DX・経理DXなど特定領域のDX関連事業)

サービスビジネス の事業構成比

顧客データやAIなどのデジタル技術を活かして、お客様のDXにお役立ちし続けるSaaS型ビジネス
(AI-OCRサービス・チャットボットサービス・特許検索サービスなど)

事業部門・スタッフ部門の業務削減時間

DX人材 (事業・技術) の拡充数

など

Panasonic



現場知見と デジタルで 人をカイホウする

～ 人を作業から解放し、人の可能性を解き放つ ～

PX
Panasonic
Transformation

現場力を、
競争力に。